

改革プランの点検、評価について（平成29年度）

新公立病院改革ガイドライン（「公立病院改革の推進について」平成27年3月31日付 総財準第59号）に基づき策定されたプランに対する、平成29年度の点検、評価の内容は次のとおりです。

1. 数値目標に対する達成状況

(1) 経営指標に係るもの

項目	達成状況	数 値	
		実 績	目 標
経常収支比率 %	—	94.8	95.1
医業収支比率 %	達 成	91.3	89.5
他会計繰入金 対経常収益比率 %	達 成	9.4	(※) 15.5

(※) 全国同規模病院より ▼3%以上

数値は、平成28年度公営企業年鑑（100床～199床 黒字・赤字 計）

(2) 医療機能等指標に係るもの

項目	達成状況	数 値	
		実 績	目 標
救急車受入件数/年 件	達 成	794	650
緊急入院患者数/年 人	達 成	1,926	1,910
新入院患者数/年 人	達 成	3,191	3,180
外来患者数/日 人	達 成	307	307
紹介件数/年 件	達 成	3,997	3,961
逆紹介件数/年 件	—	3,791	4,043

2. 評価等

前項の数値目標については、「(1) 経営指標に係るもの」のうち、経常収支比率は目標をわずかに下回ったものの、医業収支比率及び他会計繰入金対経常収益比率は平成28年度決算より大幅に改善し、目標を達成した。

その要因としては、「(2) 医療機能等指標に係るもの」において逆紹介件数を除き目標を達成したほか、入院患者数や入院単価、手術件数などの各数値が平成28年度と比較して伸長したこと、平均在院日数も概ね適切な範囲で短縮できたこと等が要因であるが、平成29年度は専任の経営担当者の配置や各部門の長で構成する「経営委員会」を設置し、別途設定した目標の進捗管理や調整など運営体制の見直しを行い、職員の経営意識の醸成に努めたことも要因と考えられる。

また、紹介件数、逆紹介件数については、新入院患者の獲得などの病院経営のみならず、地域医療機関相互の機能、役割分担の推進の観点からも重要な数値である。

紹介件数は目標を達成したが逆紹介件数は目標を下回っている。引き続き、行政や周辺の開業医などの関係機関と協働し、かかりつけ医の啓発や地域連携パスの普及など地域医療の連携体制構築を推進する必要があると考えられる。

さらに、本プランに対する実績評価のほか新病院開院以降の各種取組など、病院運営全般に対する客観的な意見をいただくため、平成30年7月に有識者評価委員会（大学学長、医療関係団体の長、民間病院の院長）を開催した。

各委員からは、成果は現れてきており各種取組を継続することが重要との意見のほか、今後に向けての提案として、設置目的を明確にして地域ニーズにあった運営を行うこと、病院の特色を出した集患を行うこと、立地条件を活かした県立医科大学の補完的役割の検討、給与費の管理等、病院機能や集患、収支に関する意見があった。